



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月28日

上場会社名	株式会社小糸製作所	上場取引所	東
コード番号	7276	URL	http://www.koito.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 大嶽 昌宏	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役常務執行役員	(氏名) 山本 英男	TEL (03) 3443-7111
四半期報告書提出予定日	平成26年11月4日		配当支払開始予定日 平成26年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有		

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期 第2四半期	323,279	21.0	24,520	50.3	25,607	47.1	14,661	44.3
26年3月期 第2四半期	267,229	18.4	16,315	△ 6.9	17,410	0.9	10,156	40.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 27,792百万円 (142.0%) 26年3月期第2四半期 19,571百万円 (528.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期 第2四半期	91	24	—	—
26年3月期 第2四半期	63	21	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
27年3月期 第2四半期	511,269		276,631		46.6		1,481	27
26年3月期	483,093		256,072		45.5		1,368	72

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 238,031百万円 26年3月期 219,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	12 00	—	14 00	26 00	—
27年3月期	—	14 00	—	—	—	—
27年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	684,000	14.5	59,000	19.2	61,500	18.5	35,000	63.7	217	81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	160,789,436株	26年3月期	160,789,436株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	95,253株	26年3月期	95,079株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	160,694,321株	26年3月期2Q	160,697,216株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	249,000	1.5	18,500	2.3	31,500	5.5	22,000	64.6	136	91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、内需が消費増税前駆け込み需要の反動減、外需は新興国景気の減速や円高は正効果の一巡などを受け、景気は低迷いたしました。世界においては、依然として中東・ウクライナの情勢不安等があるものの、米国の景気回復、欧州経済の持ち直しなどにより、堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、消費増税前駆け込み需要の受注残対応などにより、国内向けが増加した一方、輸出向けが生産の海外移管等により減産となったことから、生産台数は前年同期比でほぼ横這いとなりました。海外では、タイ等において減産となったものの、北米や中国等での需要拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が増収となり、前年同期比21.0%増の3,232億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

〔日本〕

国内自動車生産が横這いのなか、自動車ランプのLED化等により、売上高は前年同期比3.3%増の1,301億円となりました。

〔北米〕

自動車需要の回復に伴う生産増加や、新規受注の拡大、LED化等により、売上高は前年同期比41.2%増の596億円となりました。

〔中国〕

自動車需要が増加するなか、日系・欧米系自動車メーカー向けの受注拡大、及び新工場の稼働が寄与するなど、売上高は前年同期比31.9%増の859億円となりました。

〔アジア〕

タイにおける受注拡大、インドネシアでの二輪車・四輪車の受注拡大等により、売上高は前年同期比19.9%増の325億円となりました。

〔欧州〕

欧州経済の持ち直しに伴い域内自動車生産が堅調に推移するなか、新規受注の拡大、LED化等により、売上高は前年同期比124.8%増の149億円となりました。

利益につきましては、日本の増収に加え、北米・中国等においても自動車増産や海外新工場の稼働が寄与するなど増収となったことから、営業利益は前年同期比50.3%増の245億円、経常利益は前年同期比47.1%増の256億円となりました。四半期純利益につきましても増収効果等により、前年同期比44.3%増の146億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の残高は、現金及び預金の増等により流動資産が増加したことに加え、海外生産増強に伴う設備投資等もあり、前期末に比べ281億円増加の5,112億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の増、借入金や未払費用の増等により、前期末に比べ76億円増加の2,346億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益により利益剰余金が増加したことに加え、その他の包括利益累計額の増加もあり、前期末に比べ205億円増加の2,766億円となりました。

ー2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益266億円、減価償却費114億円を主体に431億円となり、法人税等を支払った結果、336億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資216億円等を実施した結果、311億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い56億円などを実施した結果、59億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の第2四半期末残高は、前期末に比べ26億円減少の250億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内では自動車生産台数が若干減少するなか、自動車ランプのLED化などにより増収、海外では米国・中国を主体に自動車増産が見込まれ、新規受注の増加等から前期比増収の予想であります。

利益につきましては、増収効果に加え、海外新工場の本格稼働、生産性向上等もあり、各利益ともに前期比増益の見通しであります。

第2四半期末における1株当たり株主配当金につきましては、前期第2四半期末に対して2円増配、前期末と同額の14円といたしました。当期末配当金につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、現時点では未定とさせていただきます、業績動向を踏まえ、改めて公表させていただく予定です。

今後とも株主皆様のご期待にお応えすべく、更なる収益向上に努めて参りたく存じます。

なお、平成26年7月29日の第1四半期決算短信にて公表いたしました平成27年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値(連結・個別)と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

併せて通期の業績予想値(連結・個別)を以下の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日) 連結業績 予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
					円	銭
	百万円	百万円	百万円	百万円		
前回発表予想(A)	307,000	21,700	22,500	11,300	70	32
今回実績(B)	323,279	24,520	25,607	14,661	91	24
増減額(B-A)	16,279	2,820	3,107	3,361	—	
増減率(%)	5.3	13.0	13.8	29.7	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績	267,229	16,315	17,410	10,156	63	21

(参考) 第2四半期累計期間 個別業績 予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
					円	銭
	百万円	百万円	百万円	百万円		
前回発表予想(A)	116,000	7,800	15,300	10,600	65	96
今回実績(B)	119,645	8,561	16,637	12,605	78	44
増減額(B-A)	3,645	761	1,337	2,005	—	
増減率(%)	3.1	9.8	8.7	18.9	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績	113,974	6,876	14,089	10,867	67	63

平成27年3月期 通期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	639,000	53,200	55,000	28,800	179	22
今回予想 (B)	684,000	59,000	61,500	35,000	217	81
増減額 (B - A)	45,000	5,800	6,500	6,200	—	—
増減率 (%)	7.0	10.9	11.8	21.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	597,502	49,506	51,895	21,378	133	04

(参考) 平成27年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	240,000	16,300	27,800	17,600	109	52
今回予想 (B)	249,000	18,500	31,500	22,000	136	91
増減額 (B - A)	9,000	2,200	3,700	4,400	—	—
増減率 (%)	3.8	13.5	13.3	25.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	245,412	18,085	29,857	13,364	83	17

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務等の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更すると共に、割引率の決定方法を変更しております。

この変更に伴い期首の退職給付に係る負債が1,203百万円増加し、利益剰余金が735百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,018	102,615
受取手形及び売掛金	105,236	102,977
電子記録債権	6,236	6,438
有価証券	1,847	2,614
たな卸資産	52,046	55,665
未収入金	16,255	15,779
繰延税金資産	3,565	4,272
その他	26,774	27,368
貸倒引当金	△13,103	△14,188
流動資産合計	293,878	303,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,262	39,470
機械装置及び運搬具（純額）	39,649	48,601
工具、器具及び備品（純額）	13,257	16,195
土地	13,821	14,018
建設仮勘定	13,089	9,882
有形固定資産合計	114,080	128,167
無形固定資産	1,039	1,260
投資その他の資産		
投資有価証券	71,695	76,655
長期貸付金	29	21
繰延税金資産	1,000	—
その他	1,520	1,774
貸倒引当金	△152	△152
投資その他の資産合計	74,093	78,298
固定資産合計	189,214	207,726
資産合計	483,093	511,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,326	107,433
短期借入金	38,269	39,431
未払費用	17,969	21,786
未払法人税等	8,506	7,366
賞与引当金	4,546	4,626
製品保証引当金	2,151	2,101
その他	8,558	9,740
流動負債合計	185,328	192,487
固定負債		
長期借入金	5,241	5,222
繰延税金負債	582	1,360
退職給付に係る負債	26,141	26,607
役員退職慰労引当金	353	357
損害賠償引当金	2,589	1,596
製品保証引当金	4,841	4,880
環境対策引当金	246	232
その他	1,694	1,893
固定負債合計	41,692	42,149
負債合計	227,020	234,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	158,109	169,786
自己株式	△84	△85
株主資本合計	189,404	201,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,532	21,998
為替換算調整勘定	8,665	12,322
退職給付に係る調整累計額	3,343	2,630
その他の包括利益累計額合計	30,541	36,951
少数株主持分	36,127	38,600
純資産合計	256,072	276,631
負債純資産合計	483,093	511,269

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	267,229	323,279
売上原価	230,309	276,694
売上総利益	36,920	46,585
販売費及び一般管理費	20,604	22,064
営業利益	16,315	24,520
営業外収益		
受取利息	807	759
受取配当金	308	460
持分法による投資利益	0	6
為替差益	99	118
その他	478	396
営業外収益合計	1,694	1,741
営業外費用		
支払利息	381	424
航空事業安全対策費	149	118
その他	68	111
営業外費用合計	599	654
経常利益	17,410	25,607
特別利益		
退職給付制度終了益	—	936
投資有価証券売却益	985	423
固定資産売却益	5	15
その他	20	1
特別利益合計	1,011	1,377
特別損失		
固定資産除売却損	179	295
たな卸資産廃棄損	11	—
その他	2	6
特別損失合計	192	301
税金等調整前四半期純利益	18,228	26,683
法人税、住民税及び事業税	5,603	8,098
法人税等調整額	103	△354
法人税等合計	5,707	7,743
少数株主損益調整前四半期純利益	12,521	18,939
少数株主利益	2,364	4,278
四半期純利益	10,156	14,661

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主利益	2,364	4,278
少数株主損益調整前四半期純利益	12,521	18,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,849	3,614
為替換算調整勘定	2,200	5,538
退職給付に係る調整額	—	△299
その他の包括利益合計	7,050	8,853
四半期包括利益	19,571	27,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,533	21,133
少数株主に係る四半期包括利益	3,037	6,659

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,228	26,683
減価償却費	10,163	11,475
持分法による投資損益(△は益)	△0	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	521	1,019
退職給付引当金の増減額(△は減少)	494	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△940
賞与引当金の増減額(△は減少)	16	80
製品保証引当金の増減額(△は減少)	-	△12
受取利息及び受取配当金	△1,115	△1,219
支払利息	381	424
退職給付制度終了益	-	△936
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△983	△429
有形固定資産売却損益(△は益)	173	187
売上債権の増減額(△は増加)	8,565	4,726
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,984	△1,885
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,743	1,161
仕入債務の増減額(△は減少)	2,242	△1,094
未払費用の増減額(△は減少)	2,435	3,181
その他	837	769
小計	35,230	43,184
利息及び配当金の受取額	1,115	1,219
利息の支払額	△381	△424
損害賠償金の支払額	△3,861	△993
課徴金の支払額	△3,428	-
法人税等の支払額	△8,268	△9,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,407	33,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41,961	△29,036
定期預金の払戻による収入	27,947	18,593
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△8	△8
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	9,211	1,015
有形固定資産の取得による支出	△17,021	△21,694
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	7	278
貸付けによる支出	△5	△5
貸付金の回収による収入	18	11
その他	788	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,024	△31,146

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,679	△180
長期借入れによる収入	1,390	202
長期借入金の返済による支出	△476	△328
自己株式の取得による支出	△3	△0
親会社による配当金の支払額	△1,928	△2,249
少数株主への配当金の支払額	△2,916	△3,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,746	△5,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	476	838
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,605	△2,651
現金及び現金同等物の期首残高	21,992	27,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,597	25,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	126,015	42,265	65,132	27,155	6,659	267,229	—	267,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,042	—	1,378	2,143	7,846	67,412	(67,412)	—
計	182,058	42,265	66,511	29,299	14,506	334,641	(67,412)	267,229
セグメント利益又は損失(△)	10,461	△224	3,154	3,069	△335	16,125	189	16,315

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額189百万円には、セグメント間取引消去2,246百万円及び配賦不能営業費用△2,056百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	130,148	59,674	85,912	32,572	14,971	323,279	—	323,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,870	86	1,866	2,698	14,320	79,841	(79,841)	—
計	191,019	59,760	87,778	35,271	29,291	403,121	(79,841)	323,279
セグメント利益	11,952	1,779	6,486	3,452	638	24,310	210	24,520

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額210百万円には、セグメント間取引消去2,475百万円及び配賦不能営業費用△2,265百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3) 欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。